

指標 4.4.1

指標名、ターゲット及びゴール

指標 4.4.1 ICTスキルを有する若者や成人の割合（スキルのタイプ別）

ターゲット 4.4 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

ゴール 4 すべての人々への、包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

定義及び根拠

○ 定義

6歳以上の調査対象者に占めるICTスキル別の割合

○ 概念

ICTスキル：

- ・ファイルのコピーや、文字や図表のコピー・貼り付けができる
- ・写真や文書などを添付して電子メールを送ることができる
- ・エクセルなどの表計算ソフトを使用して足し算や引き算等の簡単な計算をすることができる
- ・パワーポイントなどのプレゼンテーションソフトを使用して資料を作成することができる
- ・パソコンにプリンタやカメラなどの機器を接続することができる
- ・インターネットを利用してソフトウェアのダウンロードやインストールをすることができる
- ・パソコンと他の機器（スマートフォン、タブレットなど）との間でデータのやり取りをすることができる
- ・プログラミング言語を使用してコンピュータプログラムを作成できる
- ・SNSによる写真、動画、意見の投稿や閲覧ができる

○ 根拠及び解釈

ITUのQuestionnaire on Information and Communication Technology (ICT) Access and Use by Households and IndividualsにおいてSDG指標として指定されているため。

データソース及び収集方法

通信利用動向調査

算出方法及びその他の方法論的考察

- 算出方法
 - ・通信利用動向調査における6歳以上のICTスキル別の割合（2017年、2018年は12歳以上）
- コメントと限界
 - 調査はサンプル調査であり、本指標の回答対象者は6歳以上である点に留意

データの詳細集計

スキルのタイプ別

参考

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search?page=1&toukei=00200356>

データ提供府省

総務省

関連政策府省

デジタル庁
文部科学省
経済産業省

担当国際機関

国連教育科学文化機関統計研究所（UNESCO-UIS）
国際電気通信連合（ITU）